



心援隊 夏休み 疎開・保養プロジェクト ご報告

2017.7.25 ~ 7.31



Shinentai Summer Relocation and Hoyou Project Report 7/25 – 7/31/2017

心援隊とは – What is Shinentai?

2011年3月11日の東日本大震災の被害にあわれた方々に対し、安定・継続した支援を行っていくために「心援隊」というチームを立ち上げ、その中でも「福島」を中心に見据えて活動を続けてきました。

情報を届け、義援金や活動資金を集めるためのチャリティーイベント、関西での受け入れや避難・移住のサポート、また現地において確実に効果的な活動を行っているチームへの寄付など、状況や必要性に応じてその都度最良と思われる支援を行って参りました。

震災・原発事故から6年以上が経った現在も引き続き、心援隊は『放射能から子どもたちの命を守る』ことを目的に福島だけでなく、東北・関東の被ばくの不安を感じているご家族の避難・移住のサポートを行い、そして、『疎開・保養プロジェクト』を継続して開催しています。

Shinentai was created in the aftermath of 2011 Tohoku Earthquake, in the purpose of extending hands to those who were affected by the devastating event. Shinentai has focused their energy particularly on Fukushima prefecture, where a nuclear plant has collapsed, and many has been exposed to radiation. Shinentai has been organizing charity events to raise funds and spread accurate information about Fukushima, giving assistance to those who are evacuating and relocating, and donating funds to the local groups in Fukushima that have been effectively assisting others.

Six years after the disaster, Shinentai still has been working hard to achieve their goals on “protecting children in Fukushima from the effect of radiation.” They have been supporting those who have concerns about evacuating and relocating, and continuing with “Hoyou” retreat project, in which the children from Fukushima visit outside of radiation affected areas for extended time periods, so their bodies have time to heal.

活動にかける想い:『避難・移住』へのこだわり – Why Evacuate and Relocate?

心援隊は、放射能から子どもたちを守るためには少しでも放射線量の低い地で生活することが最善だと考えています。しかし現在、福島を始め東北、そして関東のホットスポットといわれる地域等には「子どもたちのため避難したいけれど、すぐにはできない」という状況に置かれているご家族が少なくありません。

子どもたちの命のためには、避難の必要性を理解していても、さまざまな事情で今すぐには避難することができないご家族の心に寄り添い、その壁を少しでも取り除くお手伝いができればと思っています。

Shinentai believes that in order to protect children from radiation, they should live in the areas with little or no radiation. However, after 6 years from the disaster, there are families in Fukushima, Tohoku and other affected areas who believe they cannot relocate for various reasons, though they understand that it is necessary to relocate in order to protect their children from radiation. Shinentai has been working to remove these obstacles for the families.

夏休み 疎開保養プロジェクトご報告 – Summer Relocation & Hoyou Project Report

2017年7月25日～31日(6泊7日)の日程で、大阪府内にて18回目となる『夏休み 疎開・保養プロジェクト』を開催致しました。直前の参加辞退等があり、最終的に関東から1家族の参加となりました。

The 18th “Summer Relocation & Hoyou Project” was organized in Osaka and nearby areas from July 25th to July 31st, 2017 for seven days. There were some last-minute cancellations, and only one family from Kanto area participated.

7月25日(火)集合～ホテルへ – 7/25 First Meeting at Hotel

初日は、まずは心援隊の事務所に集合していただきます。

今回も3家族が参加の予定でしたが、キャンセル等が相次ぎ、1家族でのプロジェクトとなりました。

時間通りに到着されましたが、1組だけということや、お子さんが初めての環境に慣れるまで時間がかかるということで、家族さんに合わせてゆっくりしていただきました。

このプロジェクトの主旨や心援隊の思い、スケジュールについてなどを説明し、これまでは初日には設けることが難しかった、ボランティアスタッフと雑談をする時間も取ることができました。途中、環境に慣れることができないお子さんが事務所に居続けることができず、外に出る時間がありましたが、少しして戻ってきて落ち着くことができたようでした。そして、時間になったので、宿泊するホテルに向かいます。

ホテルに到着したら、表情が硬かった男の子の笑顔が少し見られ、スタッフも一安心です。この日の夕食は、残りの時間をゆっくり過ごしていただけるように、マクロビのお弁当をお届けし、初日のプログラムは終了となりました。



On the first day, we met at the Shinentai office. There were supposed to be three families participating for this project, but with many cancellations, there was only one family participated. We have explained the purpose of Shinentai and the schedule of the week. The child had a behavioral issue, so it was hard for him to sit still for a long period of time, but we had enough time for the volunteers to chat with the family.

Later we took the family to the hotel. Once arriving the hotel, the boy looked more relaxed. We left the family for the night to relax.

7月26日(水)たこ焼きパーティー＆ありがとうのお話会

7/26 Takoyako Party and Gratitude Talk

プロジェクト2日目は、恒例となったたこ焼きパーティーです。

毎回お世話になっている吹田の『モモの家』さんへ電車に乗って向かいます。男の子は初日より表情が柔らかくなった様子で、おじいちゃんからお小遣いをもらったこと、だからお土産を買ってあげたいこと、切符を記念に集めていることを話してくれました。

モモの家に到着したらすでにたくさんのたこ焼きが用意されていました。暑い中、朝から心援隊のボランティアスタッフが準備してくれたものです。

みんなの自己紹介が終わったら、たこ焼きパーティーの始まりです。ノーマルたこ焼き、ウィンナー、もち、チーズ、キムチなど色々な種類のたこやきが並びました。新しいスタッフやスタッフの子どもたちにまた緊張が強まったようですが、たこ焼きを口にして、お気に入りの味を教えてくださいました。

そしてその後は、ありがとうのお話会の時間です。今回も、全

国で『ありがとうカウンター』を使って感謝の心を持つことの大切さを伝えておられるウッチーさんと内田さんが来て下さいました。場所が住宅街ということで、いつもより声のボリュームに気を遣いつつも、ご自身の昔話を交え、いつものように面白おかしく、大事なことを伝えて下さいました。

緊張が強かった男の子もどんどんお話に引き込まれ、いただいた本にサインを求め、笑顔で一緒に写真を撮っていました。ありがとうのお話会の後は、モモの家のカフェ担当の山根さん手作りの夕食です。野菜がたっぷり、米や野菜はもちろん調味料にもこだわって丁寧に作られた身体にも優しいご飯でした。

The day 2 of the project was the famous Takoyaki (octopus ball) party! We head to “Momo’s House” cafe in Fukida by train. The boy was more relaxed today and he told us that his grandpa has given him pocket money, he wanted to buy his grandpa souvenirs, and he liked to collect train tickets.

When we arrived at Momo’s House, the volunteers have already prepared Takoyaki for us. After we introduced ourselves, we began Takoyaki party. We enjoyed various Takoyaki with cheese, Kimuchi and sausages. There were new volunteers and their children. They were a little nervous at first, but they relaxed as they enjoyed Takoyaki and told each other what their favorite flavors were.

After the party, we listened to Mr. Uchida the Gratitude Counter talk about the importance of gratitude. Mr. Uchida lectures around the country to spread the heart of gratitude. He incorporated his own stories and humor into lecture and the boy was very engaged. At the end, they took a photo together and the boy got an autograph.

The owner of Momo’s House has prepared dinner for us and we enjoyed the healthy meal.



7月27日(木)万博記念公園へ遠足 - 7/27 Field Trip to Expo Commemoration Park

3日目は遠足へ行きました。電車とモノレールを乗り継いで、吹田の『万博記念公園』に向かいます。公園に到着したら、まずは昼食を食べながら自己紹介タイムです。すでにこれまでの2日間出会ったスタッフが殆どでしたが、初めての人を見つけては自己紹介をしていました。男の子の表情がずいぶんやわらかくなり、笑顔もたくさん見られるようになりました。



の腹がいつはいいになつたら、みんなで外遊びです。男の子のソング
ストでみんなでセミを探しますが、セミの鳴き声はたくさん聞こえるも
の、セミはなかなか見つからず、セミの抜け殻探しに変更です。

大人たちも手伝ってたくさんのセミの抜け殻を集め、公園内にある
『自然観察学習館』に向かいます。そこでは、セミの抜け
殻を 30 個以上集めるとプレゼントがもらえるということで、みんなで
集めた抜け殻の数を数えました。クマゼミ、アブラゼミ、ニニゼミ
の抜け殻が全部で 59 個もありました。



プレゼントをいただき、学習館の中をいろいろ見て回ります。様々な昆虫や生き物がいたり、パネルでの説明や木工作品などがあり
ましたが、一番の関心は昆虫の王様カブトムシ。捕まえて手に乗せてご満悦の様子でした。

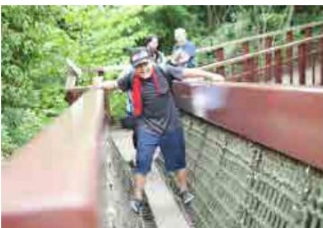
自然観察学習館を後にして向かったのは、森の空中観察路『ソラード』。森の中の階段を上っていくと、公園の木々を上から観察す
ることができます。ゆれるつり橋を渡って更に階段を上ると、一番上の展望台からは万博公園が見渡せて、太陽の塔やエキスポシ
ティの観覧車も見ることができました。

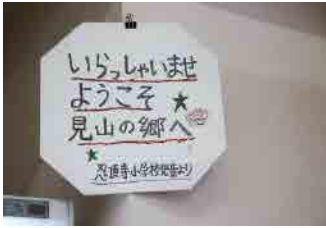
万博記念公園を目いっぱい楽しんだ後は、大阪名物のお好み焼きの夕食です。自分でソースや青のりをかけたお好み焼きは「この
ままずっと大阪にいたい！」という言葉が出てくるくらい、おいしかったようです。

On the third day, we went to a field trip to “Expo Commemoration Park” in Fukuda. After riding train and monorail, we have arrived the park and we had lunch. He was getting familiar with the staff and we saw more smile on his face. After the lunch, we looked for the cicadas per request by the boy. We could hear the cicadas, but we couldn't site ones. So, we switched to finding the cast-off shells of cicadas. We found many shells and took them to Nature Observation and Study Hall, where we could receive a present if we collected 30 cicada shells. We collected 59! He received the presents and he seemed content looking at various exhibits of insects.

Then we walked on “Sorado (aerial walkway),” from which we could watch the park from above. At the end of the walkway, there was an observation deck and we could see the whole park, including the Ferris wheel of Expo City and the famous Tower of the Sun.

After enjoying the park all day, we had Okonomiyaki (Japanese savory pancake), which is one of the specialties of Osaka. He enjoyed the Okonomiyaki so much that he announced that he wanted to stay in Osaka forever!





4日目は、車に乗って茨木方面に遠足に行きました。地元産の野菜やその野菜を使ったお弁当やお惣菜、珍しいジェラートなどが販売されている『見山の郷(みやまのさと)』さんで、少しの休憩を取りました。きなこ、小豆、キュウリ、みょうが、味噌など色々と変わった種類のジェラートがありましたが、家族さんもスタッフたちも満足の味でした。

次の目的地は、廃校になった学校を利用した『里山センター』さんです。一室をお借りして、まずはお昼ごはんに見山の郷で注文していたお弁当をいただきます。お弁当は、茨木の野菜がふんだんに使われた手作りの優しい味でした。サツマイモの入ったポテトサラダや野菜のかき揚げが子どもたちに大人気でした。

「野菜にありがとう」「農家の人にありがとう」他にも沢山の「ありがとう」を数えることができました。

お腹がいっぱいになった後は、心援隊スタッフが先生となり、木工作品作りに挑戦です。ママも参加し、どんぐりや木の枝を使って思い思いの作品を作ります。ストーリーのあるもの、大好きなものを表現したもの、独創的なものと、様々な作品ができました。

そのあとは、里山センターの裏にある山を散策します。カエルやバッタなど色々な生き物を見つけることができました。自然の中で目いっぱい楽しんだ後は、緑の中でみんなでジャンプしての記念撮影。笑顔いっぱいの記念写真になりました。そして次の目的地、ありがとうカウンターの内田さんの隠れ家でもある『いろり茶屋』に到着です。内田さんの部屋を見せて頂いたり周辺を散策していましたが、強い雨が降ってきたため途中で中断してしまいました。その代わりに、いろり茶屋に住んでいる猫たちが、子どもたちの相手をしてくれました。

最後は残念ながら予定通りにはなりませんでした。自然の中でたくさん外遊びができる一日となりました。



On the fourth day, we drove down to Ibaraki area for a short field trip. On the way, we stopped at "Miyama no Sato," where we could buy local vegetables, local cuisine, and interesting flavors of gelato like miso, kinako, cucumber, and azuki.

The next stop was "Satoyama Center," a community center made out of closed school building. We rented a room to eat lunch we bought at Miyama no Sato. We enjoyed the healthy meal full of local vegetables. After the meal, we challenged to a craft project. With adults joining in, we spread our imagination to create many craft works using twigs and seeds.

We also explored the mountain behind the center. We found many creatures like frogs and grasshoppers. We also took group photos in the nature.

When we arrived the next destination, "Irori Café" by Mr. Uchida the Gratitude Counter, it started to rain hard. We had to stop exploring outside and played with the cats living in the café. We had a wonderful day spending out in the nature.

この日は、電車に乗って遠足の日です。阪急電車を乗り継いで箕面に向かいました。箕面駅から滝に向かう道にはたくさんの方がいました。

滝道から外れた道に入り少し歩くと、人気の少ない静かな川のほとりに出ます。滝道よりも気温が低く感じるこの川辺でまずはお昼ご飯です。お昼ご飯のお弁当は、尼崎にある『穀菜食堂 なばな』さんの、動物性食品を全く使わず安心・安全な食材のみを使った、おいしくて体にやさしいお弁当です。川のせせらぎに耳を澄ませながらいただきました。

お腹がいっぱいになった後は、その川で水遊びをします。浅い川ですが、岩がたくさんあったり急に深くなり流れが急な場所もあるので、十分に注意しながら、生き物が潜んでいそうなところを探します。流れの緩やかな場所には、小さな巻貝や魚、カニなどがおり、大人たちと協力しながら小さなカニを手のひらに乗せ、カメラに見せてくれました。

川遊びを堪能したら滝道に戻り、坂道を頑張って登っていくと、ついに箕面の滝に到着です。大きな滝に歓声が上がりました。気持ちいい水しぶきを浴び、たくさんパワーをもらって、みんなで記念撮影をしました。帰り道にあるお土産屋さんでは箕面名物のもみじのてんぷらを試食させていただき、おこずかいをくれたおじいちゃんへのお土産にと購入していました。

行きはちょっと疲れ気味だった男の子でしたが、滝のパワーをもらって元気になったのか、帰り道はスタッフと競争しながら一番乗りで駅に到着し、ニコニコ顔でみんなを待っていてくれました。

電車に乗って向かった先は、心援隊の事務所です。一息ついた後、事務所近くにあるサロンにて『ナノスキャンメタロン』という、最先端の技術を使った健康診断を受けに行きました。今の健康状態や今後かかる可能性のある病気、体に合う・合わない食べ物など、いろんなことを調べていただきました。

その後は、事務所近くのお店にて、この保養プロジェクトのために特別に作ってくださった、メニューにはない夕食をいただきました。メインは冬瓜と鶏ひき肉のあんかけ、そのほかにも野菜たっぷり、子どもも大人も満足の夕食でした。お店の方にしっかりごちそうさまを伝えて、この日は解散となりました。



On this day, we took train to Minou. There were many people on the way to the famous waterfall from Minou Station. We avoided the crowd and headed down to the river. We had a healthy vegetarian lunch catered from "Organic Cafe Nabana" in Amagasaki.

After the lunch, we played in the river, looking for tiny creature like freshwater shells and crabs. Then we walked up a hilly path to Minou Waterfall. It was so big that everyone was so impressed. We stopped at a souvenir shop on the way home and the boy tried "Maple Leaf Tempura," which was a famous sweet in Minou area. He liked it so much that he bought some for his grandpa.

We took train back to Shintai office and took a break. Then went to a local salon and tried "Nanoscan MTR," which was a cutting-edge technology to detect your health conditions. It could even detect the potential illness to watch out for, the food allergies, etc.

We had dinner at a neighborhood restaurant where they created special menu for this project. We enjoyed wonderful fresh meal and thanked the chef and ended the day.

最後のプログラムとなった6日目は、マイクロバスをお借りして、奈良方面へ遠足へ行きました。まず向かった先は『平城宮跡』です。まずはお昼ごはんの時間です。昼食は、安心・安全なものを販売されている、吹田市のクレヨンハウスさんのお弁当をいただきました。



しっかり食べてごちそうさまをして散策に行こうとしたら、男の子が、ボランティアスタッフの赤ちゃんを抱っこしていました。まるで本当の兄弟のように、赤ちゃんもリラックスして抱っこされていました。

赤ちゃんのベビーカーを押すのを手伝いながら、平城宮跡の復原事業情報館に向かいます。パネルや模型、映像などで工事の様子などが分かるようになっていました。映像を見終わったら、説明して下さったスタッフの方にお礼を言って、第一次大極殿院に向かいます。

中に一歩足を踏み入ると、とてもきらびやかな様子に目を奪われました。パネルや模型、実物も展示されており、大極殿院を見渡して、実物を見て、その豪華さや細やかさに思わずため息が出るほどでした。



太古のロマンを堪能したら、バスに乗って次の目的地の奈良公園へ。まずは鹿せんべいをあげたいということでしたが、購入しているそばから鹿が集まってきました。どんどん寄ってくる鹿たちに少し怖がりながら、頑張って鹿せんべいをあげていました。水場で涼んでいる鹿たちや、赤ちゃん鹿への授乳シーンなど、珍しい場面も見られました。

鹿と触れ合った後は、『阿吽(あ・うん)』を見に東大寺の南大門まで歩きます。大きさと迫力にびっくりにしていましたが、「どちらが好き？」と聞くと、見比べて、『吽』の方がお気に入りということで、同じポーズで一緒に写真を撮りました。



奈良公園を楽しんだ後は、最後の夕食に向かいます。夕食はいつもお世話になっている吹田の洋食屋『パインズハート』さんでいただきます。ハンバーグにとんかつ、エビフライやクリームコロッケなど、子どもたちが好きなメニューばかりです。ソースも手作りで、最近料理を始めたという男性ボランティアスタッフも興味津々の様子でした。野菜もしっかり食べて完食した後は、オーナーシェフと一緒に記念撮影です。



「ごちそうさま」をしてパインズハートを後にし、近くのクレヨンハウスさんで買い物をして、バスはホテルに到着しました。ボランティアスタッフとはここで別れとなるので、一人一人と握手でさよならをします。場所に慣れたり、人と仲良くなるのに時間がかかった男の子でしたが、全員と笑顔でしっかり握手ができました。

On the sixth day of the project, we rented a micro bus and went to Nara. The first stop was the historic monument of "Heijo Palace." We ate the healthy lunch box from "Crayon House" in Fukida. We noticed the boy was holding a baby of volunteer staff. They looked like the real brothers.

We looked around Heijo Palace Restoration Information Center and learned about how they are restoring the palace. Then we headed toward the First Daigokuden, the restored main palace. We were so impressed by the beauty and richness of the ancient craftsmanship.

Afterward, we visited Nara Park and fed the deer. It was so nice to observe many deer, including a baby deer drinking mother's milk. We walked to the south gate of Todai Temple and took photos with the large statues of protection gods "A and Un."

After enjoying Nara Park, we went to have a farewell dinner at Pines Heart Restaurant in Fukui. They cooked delicious child-favorite dishes like meat patties, fried pork, fried shrimp, and cream croquettes. Even the male volunteers were interested in how they cooked everything from scratch including the sauces and condiments.

After finishing the meal and taking photo with the chef, we stopped at "Crayon House" for a little shopping. Then it was the time to say goodbye to the volunteers. Though initially it took a little while for the boy to get used to the new places and people, by then he could give handshake with a big smile to each volunteer.

7月31日(月)出発の朝 - 7/31 Morning of Departure

あっという間にプロジェクト最終日、お別れの朝です。

チェックアウトの後、ホテルのロビーで最後のお話をします。6泊7日のプロジェクトでしたが、まだまだ話し足りないことがあったようです。男の子は、初日とは別人のような笑顔でありがとうカウンターを見せてくれたり、大阪で楽しかったことなどを色々話してくれました。

そして、本当にお別れの時間がやってきました。家族さんのこれからの幸せを祈り、握手をして、ハイタッチをして、それからぎゅっとハグをして、お別れです。

この後は別の保養に行かれたそうですが、それはつまり、保養に出なければいけない場所に住んでいるということ、そして食べ物や水、周りの環境を気にしなければいけない状況に置かれているということにほかなりません。そういった状況に子どもたちを帰したくない、安心・安全な場所で過ごしてほしい...そんな思いもありますが、心援隊には、ママたちや子どもたちを信じて、助けを求められた時に支える準備をすることしかできません。



家族さんの未来が明るく笑顔にあふれたものであることを、そしてまたどこかで、笑顔で再会できることを祈っています。

The last day of the project and the morning of departure came so quickly. After checking out of the hotel room, we had a conversation in the hotel lobby. The boy was like a different person compared to the first day. He shared with us what he liked in this trip.

Then it was the time to say goodbye. We wished them good luck and gave each other hugs and high-touch, and we said goodbye to the family.

We heard that they went to another Hoyo later in that summer. That meant that they lived in the area where they had to go out often to stay healthy. They had to live in the place where they had to watch for what they eat, drink and do in the environment. Though we didn't want them to go back to such situation, the only thing Shinentai could do was to be prepared so we can help the family in the future when they need a help to relocate.

We wish the family a bright future and we wish to see each other again.

参加者さんからのお手紙（一部抜粋） - Letter from the Participants (excerpt)

楽しいところへ連れて行ってきて、有難うございました。
万博記念公園が一番楽しかったです。
また大阪に行きます。その時は事務所に寄ります。待っててくださいね。(子どもより)

安心でおいしい食事、空気、そして楽しい時間をありがとうございました！

息子も私も、健康診断の結果も受け止めながら、大阪での生活を無駄にしないよう、元気に過ごしています。一生懸命子供の健康のことを考えてくださりありがとうございます。

親として私も、自分の身体と向き合いながら、いろいろ考えて行動できるよう頑張ります！（親より）



“Thank you so much for taking us to so many wonderful places. I enjoyed the Expo Commemoration Park the best. I would love to visit Osaka again. When I do, I will stop by at Shintai office. Please wait for me!” (from the boy)

“Thank you so much for the safe and tasty meal, fresh air and wonderful time! My son and I are doing great. We think about the health check and the time spent in Osaka, so we can live happy and healthy. Thank you so much for considering the health and wellbeing of children. As a parent, I will do my best to take care my body and take an action for my child.” (from the mother)

最後に - The Final Thought

『夏休み 疎開・保養プロジェクト』を開催するにあたり、今回も大変多くの方々のご協力をいただきました。

各プログラムごとにお世話になりました、ありがとうカウンター・内田さま、モモの家さま、穀菜食堂なばなさま、社会福祉法人とよかわ福祉会さま、パインズハートさま、クレヨンハウス大阪店さま、先輩移住者の皆さま、ご寄付を下さったり各方面につないでくださった皆さま、家族さんのためにと一生懸命動いてくださったボランティアの皆さま、様々な形で応援してくださった全ての皆さま、たくさんのご支援をいただき、このプロジェクトを開催することができました。本当にありがとうございました！

また今回は、株式会社ラッシュジャパンさまより「LUSH FunD」の助成金を、大阪矯正管区教諭師連盟さまより放射能被ばくから子どもたちを守る支援活動助成をいただき、負担の少ない中で開催することができました。また、たくさんの方々の有形無形の善意により、参加家族さんにとって意味のあるプロジェクトを企画することができました。改めて心より感謝いたします。

震災から6年以上が過ぎた現在、プロジェクトへの応募数は少なくなり、キャンセルや参加辞退なども年々増えてきています。その一方で「活動を続けてほしい」「保養が必要」という声は変わらず届けられ、事情により参加が叶わなかった家族さんから「次は参加したい」という声も上がっています。

人々の関心も年々薄れている実感もありますが、震災直後からずっと協賛・協力を続けてくださっている方、今の心援隊の活動を見て、新しく応援をしてくださる方が少なからずいてくださるのもまた事実です。

まだまだ心援隊の活動が必要とされている、このことをしっかり胸に刻みつつ、福島をはじめ東北・関東の家族さんたちにとってベストな支援を続けていく所存です。

今後とも、なにとぞご支援をお願いいたします。

We would like to acknowledge all the people who helped us to organize “Summer Relocation and Hoyou Project” this year: Mr. Uchida the Gratitude Counter, Momo’s House, Organic Café Nabana, NPO Toyokawa Fukushima, Pines Heart, Crayon House, and all the volunteers and supporters for this project.

We have also received generous supports from LUSH Cosmetic Japan and Osaka Kyoseikan Area Teacher’s Union. Because of their generous contributions, we could organize the meaningful Hoyou project for the participated family without financial pressure.

After six years from the Tohoku Earthquake, there has been a definite decline in applicants for the project. There are increase in cancellations every year as well. On the other hands, we hear the voices asking to continue our project for the families in Fukushima and other radiation affected areas.

it is a fact that the public interest is declining year after year. Yet, there still are people who has been supporting us from the beginning and new supporters who have learned about our activities recently. We are determined to continue our support for those who live in the radiation affected areas in Fukushima and surrounding areas.

Thank you so much for your continued support!

『夏休み 疎開・保養プロジェクト』にご協力ありがとうございました！

協賛：ありがとうカウンター・内田様 モモの家様 穀菜食堂なばな様 社会福祉法人とよかわ様
パインズハート様 クレヨンハウス大阪店様 ティグレ連合会様 美容室 Luft 様 Panier ~パニエ~様
Heart of Tao Resonance Art 様 大伸ビルマネージメント（株）様
協力：箕面アジェンダ 21 の会様 みのおエコクラブ様 北摂ファイン様 日本志喜彩塾様 チームまっぺあ様
助成：LUSH FunD 放射能被ばくから子どもたちを守る支援活動助成

ご寄付のお願い

心援隊の持続可能な活動のためにご支援をお願いいたします

いただいたご寄付は、放射能から子どもたちの命を守るために大切に使用させていただきます



主催/問合せ：NGO 心援隊

〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島 4-4-25-409

TEL：06-6476-9050

メール：info@shinentai.net

HP：http://www.shinentai.net/

ブログ：http://ameblo.jp/shinentai/